



おぼん万灯会（まんとうえ）

TOKACHI WINE
50
 十勝ワイン50周年
 SINCE 1963

**十勝ワインは
 おかげさまで50周年**

ゼロから始めた池田町の十勝ワインが、
 6月19日に50年を迎え、“あせらず
 あわてず あきらめず”の姿勢で『ワイン
 づくり 百年の大計』に向かっていきます。
 これもひとえに十勝ワインを支え続け
 ていただいた皆様のおかげです。心か
 ら感謝申し上げます。
 これからのご愛顧を更にお願ひ致し
 ます。

東京で十勝ワインと十勝の食材が楽しめる店
レストラン十勝
 住所 東京都中央区日本橋2-3-18 石黒ビル地下1階
 電話 03-3274-3727

池田町東京事務所
 住所 東京都中央区日本橋小網町13-2 オーチャー小網町ビル7階
 電話 03-5643-8855

猛暑の東京を逃れて8月1月間小樽で暮らしてみました。小樽市が企画した「ゆっくり快適小樽暮らし」プランに申し込んだところ希望していた長期滞在型マンション（2DK、40㎡）に入居することができました。新潟に前泊し7月31日10時、新日本海フェリー「はまなす」は人と車を乗せて新潟港を出航、翌8月1日早朝4時30分かすかに日が明け始めた小樽港に入港。

小樽港ターミナルのレストランは未だオープンしてなくて小樽駅近くの三角市場へ直行。まずは「しゃけ定食」を注文した。身が厚くほかほかの柔らかい鮭を口に入れた瞬間、なつかしいふるさとの味を思い起こしました。

マンションは小樽市役所の目と鼻の先、8階建てのビルの最上階、風通しが良く入船市場や妙見市場がすぐ近くでどこへ行くにも便利な場所。着いた日は生活の準備を整え翌

日、北海道3大夜景の一つと言われている天狗山に登頂し、小樽市街を展望、沖に停泊している大型船がまるで雲の上に浮かんで見える位遠く見通すことができました。

3日目からは小樽市が作成した「小樽案内人」四つのコースに従い市内を隈なく散策、また、8月開催の各種イベントにも参加し、リュックを背負い家内と共に1日2万歩近く歩きました。

今回、再発見した事の一つに小樽は坂道が多く道幅や石垣が昔のまま残っていてしかも要所要所に古い建造物が現存しているという事です。街角に立ってふと周りを見渡すとまさにタイムスリップして子供の頃の原風景がそこにありました。

“小樽ちよつと暮らし” 体験記

東京小樽会会長 清水川 治二



北海道共和町 ひと・ゆめ・しぜんが出会う丘



西村計雄記念美術館



月と桃の花 1977年 116×72cm



郷土出身でパリで活躍した洋画家・西村計雄の作品約5,300点を所蔵。故郷を一望する眺めのよい丘に立つユニークな建築も見どころ。

- 休館日 月曜日（祝日の場合翌日）
- 開館時間 9:00-17:00（入館16:30迄）
- 入館料 一般500円、高校生200円、小中学生100円
- 所在地 岩内郡共和町南幌似143-2
- 電話 0135-71-2525
- 交通 中央バス「共和町役場」下車徒歩約15分

東京

西村計雄のアトリエ



オランダ(チューリップ) 1962年 77×145cm

晩年、パリから帰国後構えたアトリエを、没後小さな美術館として公開。渡仏前から最晩年の箱絵まで、年代別に陳列しています。

- 予約制 電話03-5499-1611
- 入館料 無料 ●休館日 土曜日
- 開館時間 14:00-17:00
- 所在地 東京都大田区北千束3-7-3
- 交通 東急目黒線／東急大井町線 大岡山駅下車 徒歩6分